

まだら状の被害状況 地区の約半分が全壊

震災直後

えんま通り商店街の人々の会合  
(協同組合東本町二丁目振興会)

震災後2ヶ月

有志が参加

行政

情報共有

えんま通りまちづくりの会

支援

専門家

新潟工科大学  
田口研究室

目的:  
復興まちづくりの方向性としての「復興ビジョン」の  
提案に向けて議論・検討  
構成員(約25名):  
協同組合東本町二丁目振興会有志



全壊した建物の中での復興に向けた地元の集會



まちづくりの会を新潟工科大学田口研究室が支援し、復興ビジョンをまとめる

えんま通りまちづくりの会

震災後8ヶ月以降

えんま通り復興協議会

えんま通りの復興を支援する会

支援

目的:  
まちづくりの方向性から具体的な  
「**事業化推進**」を議論・検討  
  
構成員(約60名):  
協同組合柏崎東本町二丁目振興会  
柏崎市東本町七丁目町内会  
その他関係権利者  
  
方法:  
ワークショップを行い合意形成を図る

構成:  
大学  
新潟工科大学田口研究室  
早稲田大学佐藤研究室  
専門家  
早稲田大学都市地域研究所  
アルセッド建築研究所



6つのグループに分けて検討会を開催



まちづくりデザインゲーム(幹事会プレWS)



グループ毎の連続検討会→全戸個別ヒアリング



**事業の性格毎にゾーンごとにまちづくりの方針を整理**

【B. 通りの連続性】

**6. 連続感を損なう通り沿いの駐車スペースはやめる**

6-1. 停車帯や共同駐車場を活用し、店舗前駐車スペースを設けないようにしましょう。



住宅前のカーポート (×)



郊外店と同様の車中心の店舗 (×)

【D. まちなかの住環境】

**12. 「お庭小路 (案)」を実現しまちなかの住環境と回遊性を向上させる**

12-1. 奥行きが長い南側の敷地では、隣接する敷地同士の中庭を連続させ、まちなかの住環境と回遊性を向上させる「お庭小路」を生み出しましょう。

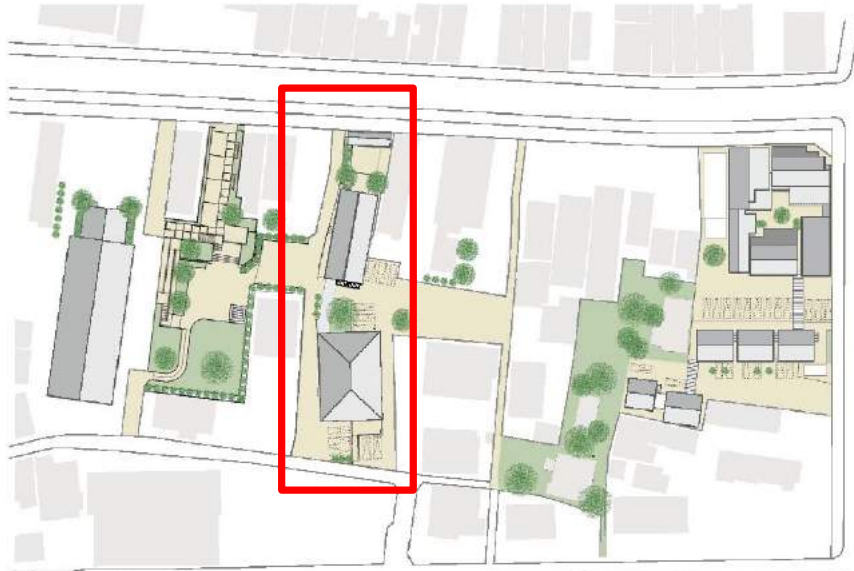
【中庭を繋ぐ「お庭小路」】



まちなかの住環境と回遊性を向上させるため、前後に合わせ、中庭を繋ぐ「お庭小路」を生み出しましょう。



## プロジェクト1：元気居住にぎわい拠点事業



再建イメージ模型



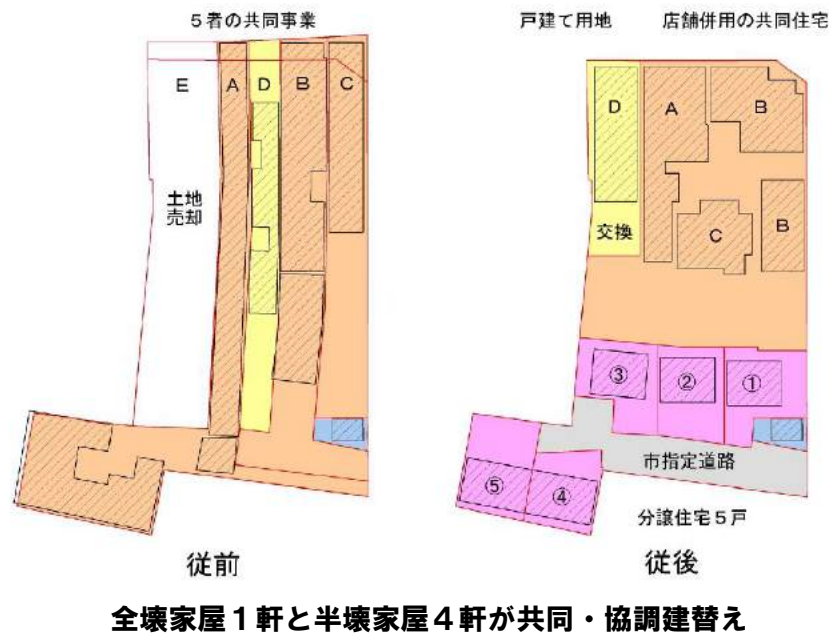
被災した老舗店舗同士の共同建替え  
解体だけで1億円もかかるプロジェクト



### プロジェクト3：木造共同化による再建事業



被災した地権者の共同建替えによる店舗の再建と、まちづくり会社による地域内の住み替えや移り住む人のための住まいの拠点の実現



### 共同建て替えによる市民事業



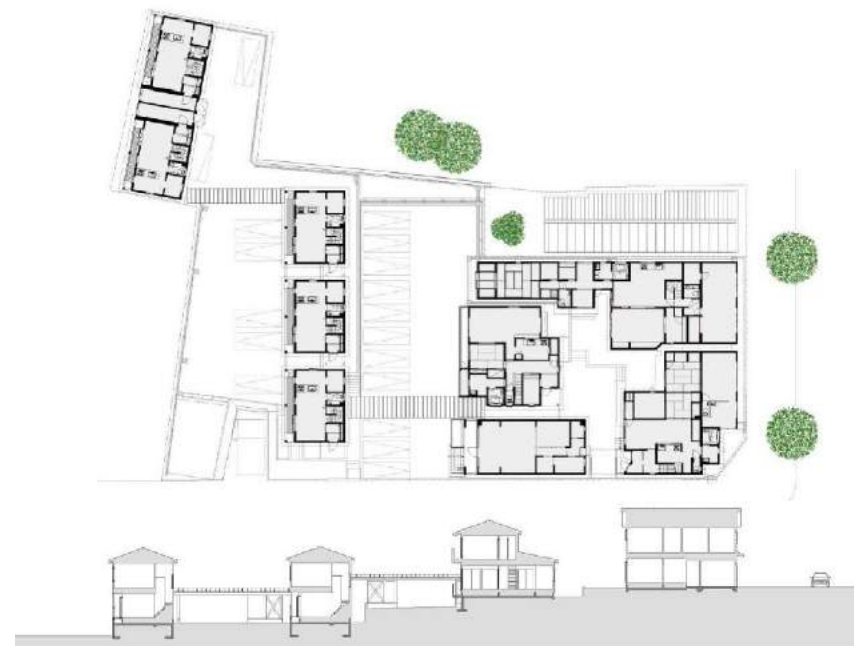
木造の店舗及び住まいの再建と5戸の住宅  
木造2～3階建ての共同建て替え(優良建築物等整備事業)  
垂直の高度利用ではなく水平方向に高度利用しまちの連続性を再生



既成市街地に違和感なく埋め込まれた共同建て替え

まちなかでも採光条件の良い住まい

身の丈の規模の店舗再建



坂の地形に馴染む住棟配置





復興広場のイメージ模型



防災広場の検討案



**ポイント!!**

- 全体での再生ビジョン→ゾーン毎での意見交換から、「基幹事業」の推進と「ガイドライン」作成を同時並行で進める。
- 民間事業と、公共事業(公園整備・街路事業)との組み合わせ
- 研究期間(地元大学等)・専門家の支援体制